

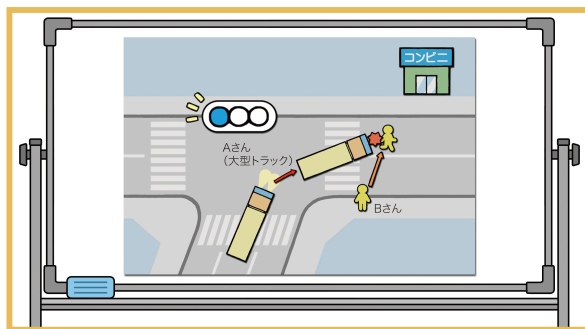
# 思い込みによる事故 交差点右折時の「人対車両」

事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

Aさん(男性、60代、大型トラック運転)は平日の早朝4時ごろ、通い慣れた歩車道が分離された往復2車線の道路を進行し、信号機が設置された変形丁字路交差点の右折専用車線から青信号に従い右折進行中、交差点の横断歩道付近を歩行中のBさん(女性、50代)と衝突してしまいました。この衝突によりBさんは頭部を路面に強く打ち、重傷を負ってしまいました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

Aさんは青信号に従い右折をしました。しかし、これまで早朝のこの時間帯に人を見かけたことがなかったため、横断する歩行者はいないと思い込んだことと、交差点右前方のコンビニに気をとられて、安全確認を怠ったまま交差点を内回りに右折をした

ことが事故の原因になりました。また歩行者のBさんも横断歩道上を渡らず、横断歩道付近の道路を斜め横断したことも事故要因のひとつになった可能性があります。

## 安全運転に向けての指導

早朝4時ごろはまだ日の出前であたりは暗く、交通量も少ないことからつい安全確認を怠りがちです。まさか歩行者が横断歩道外から斜めに渡ることはないと思い込んでいたことや、前照灯の照射範囲外

の歩行者であったことに加え、内回りの右折によって、右方の歩行者の発見をさらに妨げた可能性があります。よって以下をポイントに指導を行い安全の向上に努めましょう。

ここが  
ポイント!

- ・交通量が少ない時間帯でも、思い込みをせず慎重に周囲に注意を配って運転!
- ・右折時は内回りをせず、交差点を横断する自転車や歩行者がいなければしっかりと確認!

「事故事例から学ぶ セーフティドライブ」は、今月号をもちまして一旦休載となります。  
ご愛読ありがとうございました。

協力：(公財)交通事故総合分析センター